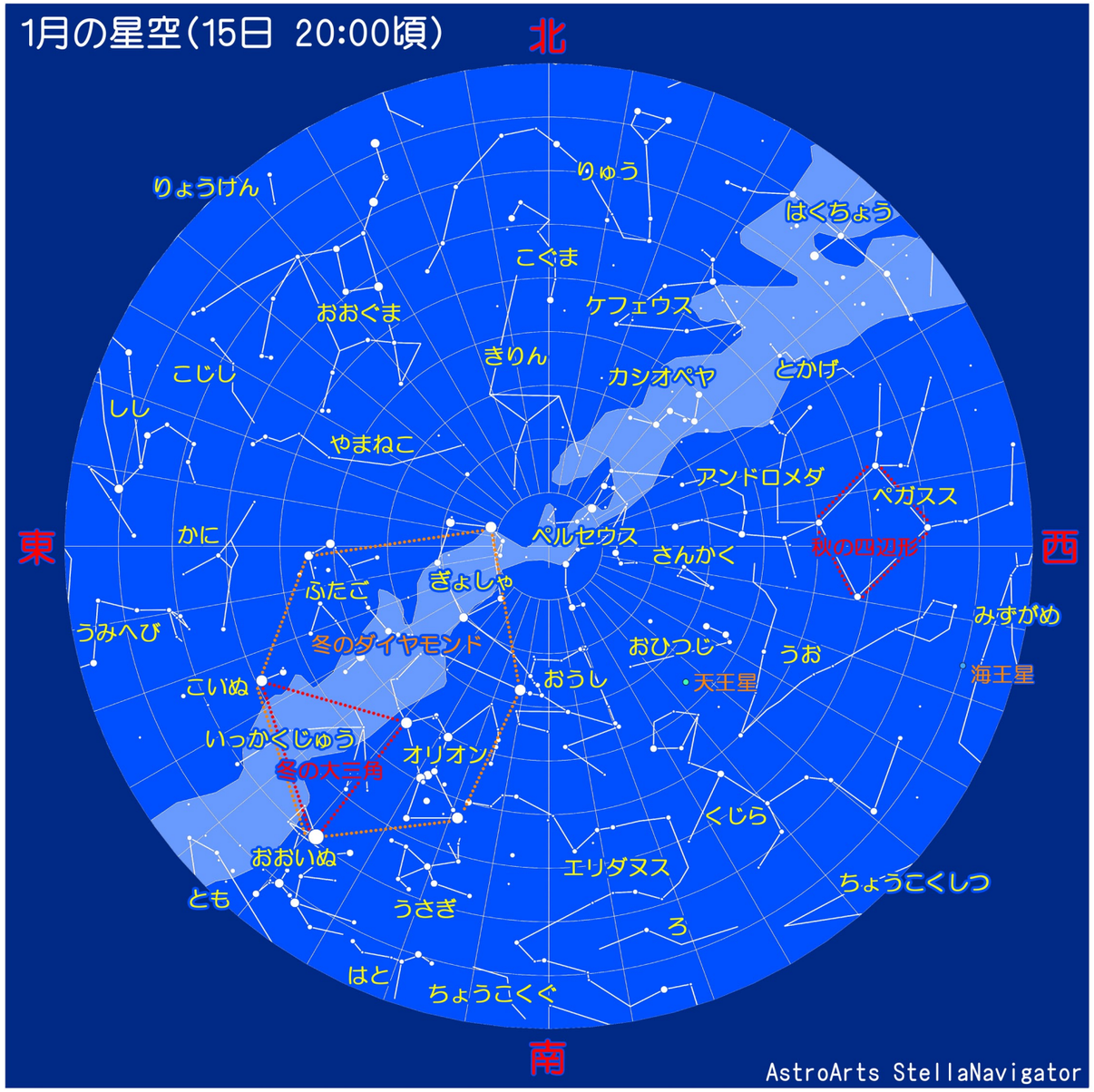
銀河の森天文台
2022年1月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M44（散開星団）

かに座の胴体の部分の四角形に並んだ星の内側にある散開星団で、プレセペ星団と呼ばれています。肉眼でも見ることができる星団で、ふたご座の１等星ポルックスと、しし座の１等星レグルスの中間当たりにその姿を見つけることができるでしょう。

アイヌも古くからこの星団を知っており、エルムン・プ（ネズミの倉）と呼んでいました。

距離：約590光年

M44

月

		出	没
3日	● 新月	07:30	16:17
10日	◐ 上弦	11:13	--:--
18日	○ 満月	16:11	07:22
25日	◑ 下弦	--:--	10:26

天文台から月を見ることができるのは6～21日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星

太陽系の外側から２番目の惑星、天王星がおひつじ座に見えています。淡いグリーン色が特徴で、小さく見えますが、直径は地球の約4倍もあります。自転軸がほぼ横倒しになっているのも大きな特徴です。

太陽からの距離：約29億km

M42（散光星雲）

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの４つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M82（銀河）

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる、非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

NGC2392（惑星状星雲）

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」と呼ばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ愛称の由来となったフードのような構造も見えてきます。

距離：約1360光年

アルデバラン（恒星）

おうし座の右目の位置に輝く1等星です。

アルデバランという名前はアラビア語の「後に続くもの」という意味の言葉からきていて、プレアデス星団の後に続いて昇って来ることに由来しています。

距離：約67光年

ちょっとマニア

・IC418（惑星状星雲）

うさぎ座に位置する惑星状星雲で、スピログラフの描くパターンに似た模様から、スピログラフ星雲と呼ばれています。りくり望遠鏡では小さな星雲状の光として見ることができます。

距離：約3600光年

その他おすすめ

- M1（超新星残骸）
- M45（散開星団）
- M81（銀河）
- かに座ι星（重星）
- うさぎ座Ｒ星（恒星）
- シリウス（恒星）
- ベテルギウス（恒星）

1・2月の銀河の森天文台カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日